

大館市教育委員会会議録

日 時 令和2年6月30日（火）
午後3時30分
場 所 大館市立長木公民館
第1・2研修室

大館市教育委員会

大館市教育委員会会議録

1	開会の日時 及び場所	日 時 場 所	令和2年6月30日(火) 大館市立長木公民館	午後3時30分 第1・2研修室
2 出席委員の氏名				
	教育長職務代理者	山 田 和 人	委 員	工 藤 啓 子
	委 員	根 田 穂美子	委 員	小笠原 正 卓
3 欠席委員の氏名				
4 委員以外の出席者職氏名 (なし)				
5 出席した職員の職氏名				
	教 育 長	高 橋 善 之	教育総務課長補佐	鈴 木 明
	教 育 次 長	本 多 恒 博	教育総務課長補佐	石 田 誠 樹
	教 育 監	山 本 多鶴子	学校教育課長補佐	小松原 功 秀
	教育総務課長	成 田 浩 司	生涯学習課長補佐	糸 屋 みさえ
	学校教育課長	坂 上 隆 義	中央公民館長	金 谷 浩
	学校教育課主幹	野 呂 謙 一	歴史文化課長補佐	加 賀 至
	教育研究所長	米 澤 貴 子	教育総務課総務係長	篠 村 朋 子
	生涯学習課長	一 関 留美子		
	歴史文化課長	長 崎 美 幸		
6 会議録署名委員 教育長・根田委員				
7 会議書記 教育総務課 総務係長 篠村 朋子				
8 教育長報告				
(1)	YAMAHA CFXお披露目コンサート「西村由紀江ピアノリサイタル」の開催について			
(2)	大館市青少年問題協議会委員の任命について			
(3)	大館市生涯学習推進協議会委員の委嘱について			
9 議 事				
議案第17号	専決処分の承認について			
10 その他				
大館市教職員夏期研修会について				

議 事 の 経 過	
	開会 午後3時30分
教育長	ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については私と根田委員にお願いします。
教育長	会議録についていかがだったでしょうか。 （「異議なし」の声あり） それでは、承認とさせていただきます。 では、4の教育長の報告事項（1）から（3）をお願いします。
各課長	（「（1）YAMAHA CFXお披露目コンサート「西村由紀江ピアノリサイタル」の開催について」 「（2）大館市青少年問題協議会委員の任命について」 「（3）大館市生涯学習推進協議会委員の委嘱について」 を、資料により報告）
教育長	ご意見、ご質問はありませんか。
委員	大館市生涯学習推進協議会委員について、秋田看護福祉大学の後任が決まらないのは残念ですね。
生涯学習課長	道端先生の前にも、異動されたときに後任が決まらず、途絶えた時期がありました。今も、後任の先生を是非お願いしますと話しているのですが、この事業を担当すべき先生がこちらに来ていないということで、決まらないままとなっています。学部長さんとお会いする機会がありましたら、再度推薦のお願いをしたいと思います。
委員	西村由紀江ピアノリサイタル、大変楽しみにしています。今回、西村さんがピアノを選定したとのことですが、選定者となった経緯などお伺いします。
教育総務課長	今回のピアノはヤマハ製であったので、ヤマハの方に相談をしたところ、西村さんを推薦していただきました。
委員	西村さんのピアノは心が癒される雰囲気があるので、楽しみにしています。
教育長	ほかにございませんか。よろしければ、議事に入りたいと思います。
教育総務課長	（「議案第17号 専決処分の承認について」を資料により説明）

教育長	<p>行政用語で処分という言葉がありますが、人事異動も処分の一つであるので、処分と表記しています。</p> <p>ご質問等ありますか。なければ承認でよろしいでしょうか。</p> <p>では、次にその他に入ります。</p>
教育研究所長	<p>(「大館市教職員夏季研修会について」を資料により報告)</p>
教育長	<p>ご質問、ご意見等ございませんか。</p>
委員	<p>夏季研修会について、それぞれ喫緊の課題に即した内容となっていて楽しみにしています。先ほど、比内支援では学校からオンラインで参加する話がありましたが、コロナ対策としてだけでなく、研修に来られない先生方もいることですので、研修自体をオンラインという形でできるようになればいいと思います。</p>
教育研究所長	<p>今後、そのようにできればと思います。</p>
教育長	<p>オンラインとなれば、設備も必要となりますが、その件について説明願います。</p>
学校教育課長 補佐	<p>オンラインとなれば様々な機器が必要となってきます。将来的には、この講座全16講座ありますが、それに合わせた形で準備しなければならないと考えます。業者などからの協力も得ながら前向きに検討したいと思います。</p>
委員	<p>提案といたしますか、先週の日曜日、いつも持たせていただいている講演ができなくて、スマートフォンからZOOMで講演をさせていただきました。仰々しい設備もなくできる世の中になっているのではないかと思います。今回の研修については、録画して参加できなかった先生方に、お示しするというやり方でもいいのではないかと思います。来年、コロナのワクチンができたとしても、オンラインという感覚はなくならないと思います。そうであれば、アーカイブとして残しておくことも必要ではないかと思います。</p>
委員	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を学校でやっているわけですが、先生方は通常にはない感染防止対策でお疲れではないでしょうか。</p>
教育監	<p>授業に関しては、ありがたいことに、通常通りにできていると思います。ただ、今までにない、消毒をしたり、距離を置いたり、気を使いながらということでは、疲れていると思います。4月から稼働している、校務支援システムでは、先生方の出退勤を確認することができますが、それを見ながら勤務時間の長い先生には、管理職へ確認をしながら様子を見ています。お盆には、学校閉庁を少し長くして土日を入れて9日間を休みとします。先生方</p>

	にはゆっくり休んでいただきたいと思います。
委員	教育監のお話を伺って、安心いたしました。
委員	校務支援システムについて運用が始まっていると思いますが、先生方から何か、声が上がっているのでしょうか。また、G I G Aスクール構想でタブレットを使った授業に関して、先生方の不安があると思いますが、それへの対応はどのように考えていますか。
教育監	校務支援システムを4月からやることによって、先生方の事務量が大幅に軽減されるということは想定しています。1年前に導入した北秋田市や3年前に導入した秋田市では、先生方が使いこなすまでは3年くらいかかり、それまでは評判が悪かったそうです。大館市でも、4月導入時には事細かな質問がたくさんあり、教育研究所の方でその対応に大変でした。2か月ほど質問を集めてマニュアルを作成し学校へ示したり、コロナの関係で直接学校へ出向いていけなかったのですが、オンラインでの説明会を開催したりしました。これからも、その都度、質問が出てくると思いますので、丁寧な説明をしていきたいと思っています。
委員	山本教育監はじめ教育研究所の先生方も大変だと思いますが、よろしくお願いたします。
教育監	G I G Aスクール構想は、先生方からの要望でなった訳ではなく、コロナ対策として国から示された事業となります。市教委では、タブレットを使って学力が向上するということは想定していません。あくまでも子どもたちにとっては、便利な電子文房具といった存在であるということです。タブレットを使って、今まで想定しなかった様々な使い方の可能性があると思いますので、焦らずに現場と一緒に作っていききたいと思います。
委員	是非、よろしくお願いたします。
教育長	タブレットは一人一台となりますが、オンラインとなると家庭のW i - F i 環境の問題がありますのでハードの面だけでなく、月々の通信料の費用負担をどうするかという問題もあります。
委員	先月もお話しいただいた、家庭にインターネットの環境があるかの調査について、結果がまとまっておりますら教えていただけますか。
学校教育課長 補佐	調査した全体の15%が、W i - F i 環境がないという結果となりました。W i - F i 環境がない理由を集計しているところですが、市の中心部にW i - F i 環境がない家が多くみられます。アパートに住んでいる方が多く、W i - F i の線を引く手間がかかるため、スマートフォンで済ませているのではな

委員	<p>いかと考えます。</p> <p>オンライン授業が都市部で行われていますが、学習効果はどうかということをもスコミでも取り上げています。大館は、もともと、学び合いや支え合いで成り立ってきた授業、「『あい』で支えた授業」だったと思うのです。「『あい』があるからこそ、このような形でできた、ある意味人間の本質的な力になってきたと思うのです。このような力を今、失くしてしまおうとしているのがコロナの力で、それにどうやって対抗するのかといえば、それは『あい(愛)』といますが、支え合ったり、つなぎ合ったりしかないと考えるのです。その形を作るのは、やはり子どもたちが学校に来て受ける授業だと思えるのです。コロナで大変な時期ではありますが、必ず乗り越えられると思えるので、その時までには、私たちは引かずに挑んでいくしかないのかなと思えます。</p>
教育長	<p>オンラインではなく、やはり直接会って話をしたいですね。先日、オンライン会議をしたのですが、画面も、音声もきれいに見えて聞こえていいのですが、ただ、話しているだけという感じでした。議論とか温度とか空気が感じられないのです。会議でさえそう感じるのですから、授業となるともっともそうだろうなと思えます。</p>
委員	<p>私も、2時間スマートフォンに向かって話した訳ですが、辛かったですね。ユーチューブでオンライン授業というのをたまに見たりするのですが、10分くらいで終わってしまうのです。これだと、授業ではないと思うのです。</p>
教育長	<p>共感的協働力や反応力のないものに向かって人が話し続けるというのは難しいですね。そうならないためにも、コロナの第二波は極力防いでいきたいと思えます。</p>
委員	<p>5Gについて健康への影響はどのように考えていますか。</p>
教育次長	<p>5Gの健康被害については、教育委員会としても、見解とか科学的根拠などを探りながら進めていきたいと思えます。かつて、携帯電話を持つようになってきた時に、携帯電話の電波が健康に非常に有害だという話が一部ありましたが、今では普通にみんなが携帯電話を持っています。5Gについても、今後どのような見解が出てくるかわかりませんが、注視していきたいと思えます。</p>
教育長	<p>では、その他の二つ目「7月補正について」説明をお願いします。</p>
教育次長	<p>「新型コロナウイルス感染症対応地域創生臨時交付金」について説明します。6月24日に国の第2次補正予算で地域の実情に応じた取り組みの財源に充てるということで、臨時交付金が措置されています。教育委員会では、</p>

	<p>新しい生活様式を踏まえた対応という分野で予算を措置していきたいと考えているところです。今、ちょうど、中身の取りまとめの作業をしているところで、まとまった訳ではないのですが、具体的な項目をいくつか申し上げますと、学校の衛生環境整備としまして、トイレの洋式化改修、学校再開に伴う感染症対策・学習保障等支援事業というのがございまして、換気機器、消毒用消耗品費の購入等があります。これに関しては、各学校に配当して、校長の臨機応変な判断で即対応できるような扱いにするというのがあります。文化会館、樹海ドームへはサーモグラフィカメラの購入、放課後児童クラブ、図書館へは空気清浄器の設置や消毒液の購入を予定しています。文化芸術活動への支援としましては、コロナの影響により活動を中止している団体へ会場使用料の補助を検討しています。長走風穴等を題材とするオンライン講座を開設する機器の購入も検討しています。この予算に関しましては、9月の議会を待たずに、7月中の臨時議会での措置という構えで行きたいと思っておりますので、よろしくご理解をいただきたいと思っております。</p>
委員	<p>各学校への配当はどのくらいになりますか。</p>
教育次長	<p>学校規模にもよるのですが、有浦小で200万円、城南小、第一中、東中で150万円、その他は100万円となります。</p>
教育総務課長	<p>(「来月の開催日程」について)</p>
高橋教育長	<p>以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。</p>
	<p>会議終了時刻 午後4時20分</p>